

# 県政かわら版

1~2面 “もしも”の時に備えましょう!  
3面 かごしまニューライフプラン  
4面 情報ボックス/特産品プレゼント

## “もしも”の時に備えましょう!

~防災への知識を深め、意識を高めるために~



集中豪雨、火山噴火、地震、津波などいつどこで起こるかわかりません。そのため、県民一人ひとりが災害に対する知識を身につけ、意識を高めるとともに、地域住民が互いに協力し、助け合うことが重要です。

危険箇所の点検や訓練、研修など、日ごろからできる防災対策に取り組みましょう。

※平成23年9月の奄美集中豪雨による土砂災害(大島郡龍郷町赤尾木加世間)

### 一人ひとりの日ごろの備え

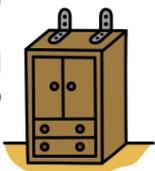
#### 危険箇所や避難所を知る



避難所や避難所までの安全な経路、避難方法を防災マップを利用して確認しましょう。

#### 家具を固定

家具を固定するなど、家具の転倒防止に努めましょう。



#### 非常持出品などを用意



避難に備えて、家族構成に合わせた非常持出品・備蓄品を準備しましょう。

#### 早めの避難

最新の気象情報入手し、雨風が強くなる前、暗くなる前に、早めの避難を心がけましょう。



常に  
万全の  
備えを!

#### 防災研修や訓練への参加



日ごろから研修や訓練に積極的に参加して、防災知識を習得しましょう。

### 県防災対策基本条例の理念



災害に強い地域社会の実現を目指して

### 県地域防災計画の見直し

県では、東日本大震災の被害状況や新燃岳の火山災害、奄美豪雨災害などを踏まえて、地震・津波災害などの自然災害や原子力災害など、防災対策の強化を図るため、「県地域防災計画」の内容を大幅に見直しました。

今後、市町村などと連携して、さらに地域の実態に即した防災対策の推進を図るとともに、引き続き、計画の見直しを進めてまいります。

### 県地域防災計画の主な修正点

- 通信施設の耐災・耐震性の強化など、災害に強い施設等の整備
  - 防災マップや海拔表示板の整備、「津波避難ビル」の指定促進などの避難体制の整備
  - 災害時要援護者の安全確保対策の推進
  - 大規模災害に対応するための広域応援体制の充実強化 など
- ※今後、県地域防災計画の前提となる災害想定を変更した場合や国の防災基本計画等が見直された際は、あらためてその内容を反映させる予定です。

### 地域でおこなう日ごろの備え

#### 地域ぐるみの避難体制を作る



隣近所への声かけや、地域の要援護者に対する避難支援をするなど、地域ぐるみの避難体制を作りましょう。

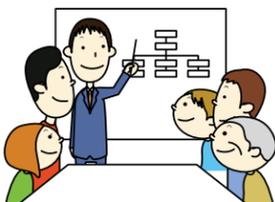
#### 地域の防災マップを作る

地域の防災マップを作成して、災害時の地域の弱点を知りましょう。



#### 連絡網を作る

災害時に支援が必要な人にも配慮した連絡網や直接の訪問など、地域の中で確実に情報が伝達できる体制を作りましょう。



#### 自主防災組織の活動への参加

自分たちの地域を自分たちで守る活動に積極的に参加・協力をしましょう。



# あなたは自分の住んでいる地域のこと、知っていますか？

## こんな前兆に気をつけて！

### がけ崩れの前兆

- がけから水が湧き出してくる
- がけに亀裂が入る
- がけから小石がバラバラ落ちてくる
- がけから木の根が切れるなどの異様な音がする

### 地すべりの前兆

- 井戸や沢の水がにごる
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く

### 土石流の前兆

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 川の水が急ににごったり、流木がまざり始める
- 腐った土の臭いがする

雨が降りやんだ後も  
土砂災害が発生することが  
あるので注意が必要です!!

## こんな地形では、こんな災害に注意！

### 山間部



山崩れに注意が必要です。山崩れは集中豪雨ばかりではなく、地震によっても発生します。特に、シラス地帯では、崩れやすいので注意しましょう。

### 扇状地



山間部の集中豪雨に注意してください。豪雨によって山崩れが起きると、土石流の危険があります。

### 急傾斜地



がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨などによって突然発生します。

### 河川周辺



河川の流域や、かつて河川敷だったところは、豪雨によって洪水に見舞われる危険があります。

※ここに紹介した土砂災害の前兆は、すべてではありません。これらを参考に早めに避難しましょう。 ※危険箇所の詳しい場所については、お住まいの市町村などに確認してください。

## もちもとの心得

### 台風や大雨のときは

- 台風情報などを注意深く聞く
- むやみに外出しない
- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備
- 避難に備えて飲料水や生活水の確保
- 避難勧告が出ていなくても、危険を感じたら自主避難を



### 地震が起きたら

- 慌てず、騒がず冷静に
- まず我が身の安全を確保
- 揺れが止まったら素早く火の始末
- 非常脱出口の確保
- 避難のときは、落下物に注意
- 正しい情報をつかむ



### 津波から身を守るためには

- 強い地震や長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難
- 津波警報・注意報が発表されたら、海岸にいる人は直ちに海岸から離れる
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで海岸に近づかない



## 防災お役立ち情報(参考URL)

### ○防災に関する知識の習得

〈県防災研修センター〉  
<http://www.kagoshimabousai.jp/>

### ○土砂災害情報マップ

<http://www.sabomap.jp/kagoshima/>  
県内の土砂災害危険箇所および土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の閲覧検索ができます。

### ○耐震診断や耐震改修の情報

<http://www5.synapse.ne.jp/kakenjikyoo/kenchiku-soudan.htm>  
(社)県建築士事務所協会(☎099(251)9887)では、耐震診断や耐震改修の専門家を紹介しています。

### ○気象情報

<http://www.pref.kagoshima.jp/bosai/weather/>  
県では、地震、津波、降雨状況、注意報・警報について情報提供しています。

### ○河川の水位等の情報

〈県河川情報システム〉  
<http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>  
〈国土交通省「川の防災情報」〉  
<http://www.river.go.jp/>  
県河川情報システムや国土交通省「川の防災情報」では、主な河川の水位、各地の雨量について情報提供しています。

## ご存じですか？

### 緊急地震速報

- ◆地震により強い揺れがくることを、テレビやラジオで可能な限り素早く知らせる情報です。
- ◆携帯電話をお持ちの方は、情報収集のために「地震速報メール」を活用しましょう。
- ※受信できる携帯電話の機種や受信設定などの詳細については、携帯電話各社のホームページなどでご確認ください。

### 津波警報・注意報

- ◆テレビやラジオ、インターネットなどで地震や津波に関する情報を収集しましょう。
- 気象庁ホームページ「津波警報・注意報」  
<http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>
- ◆地震や津波の発生時には各市町村の広報車や防災無線などでもお知らせしています。
- ◆揺れを感じなくても、遠方で発生した地震で津波が到達することもあります。津波の高さや到達時間に関する情報に注意しましょう。

## 「県民防災週間」での取り組み

毎年5月第4週の県民防災週間では、県民の参加の下、講演会や県総合防災訓練、防災点検などを実施しています。



防災訓練

## 6月は土砂災害防止月間です(6/1~6/7はがけ崩れ防災週間)

国・県・市町村が主体となり、防災機関、地域住民とともに「土砂災害・全国統一防災訓練」を6月3日(日)に実施します。



問い合わせ先 県庁危機管理防災課 ☎099(286)2256

## 防災研修センターをご利用ください

市町村や自治会などが主催する防災研修会などに防災の専門家を派遣する出前講座や館内防災研修・見学を行っています。



館内見学

(問い合わせ先)  
県防災研修センター  
☎0995(64)5251

## 県地域防災推進員をご活用ください

県では、地域における防災活動の指導的役割を担う「地域防災推進員」を養成しています。

※自主防災組織の結成・運営の指導・助言などを希望される場合には、各市町村へお問い合わせください。



地域防災推進員の講習

県庁砂防課 ☎099(286)3618